

- 前後期
- 試験日選択
- 地方試験
- センタ
- 指定校制
- 公募制
- 自己推薦
- A O
- 帰国
- 社会人
- 外国人
- 編入

京都学園大学

入試のお問い合わせ

入試課
〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1
☎0771-29-2222

	資料請求	
	願書	パンフ
完成時期	9月上旬	配布中
料金	無料	無料
発送サービス	トップハガキ	<input checked="" type="checkbox"/> ハガキ

オープンキャンパス

7/31☑ 8/1☑ 8/2☑ 9/4☑ 9/25☑
全日程10:30~16:00

【内容】 入試対策講座、大学内容紹介、入試ガイダンス、個別相談、キャンパスツアー、パソコンルーム・トレーニングルーム開放、体験授業、AOエントリーなど。入学願書、過去入試問題集、オリジナルグッズをプレゼントします。さらに、アンケートに回答してくれた人には抽選でステキなプレゼントが当たります。

入試相談会

全国各地に本学入試アドバイザーがおじゃまして、入試・学部学科・大学生活の疑問などにお答えします。詳しい日程はホームページをご覧ください。

2006年度入試のポイント

- センター試験前期では、2科目型のほかに、3科目型が増えました。センター試験でもっとも高得点の3教科3科目を採択して、合否を判定します。2科目型と3科目型に、同時出願も可能です。また、2科目型と3科目型で、それぞれ4学部(5学科)に同時出願することができ、受験のチャンスが増えます。
- 2006年4月バイオ環境学部(仮称)を設置予定です。
- 経済的負担が軽減され、何度でもチャレンジしやすくなっています。
- ・試験日の連続する試験制度(公募推薦入試A方式、一般入試前期)で2回以上受験する人は、入学検定料を減額する制度を実施しています。
- ☆1回受験する場合…35,000円
- ☆2回受験する場合…50,000円/1回当たり 25,000円
- ☆3回受験する場合…60,000円/1回当たり 20,000円
- ☆4回受験する場合…70,000円/1回当たり 17,500円
- ・センター利用入試の検定料を減額。検定料は5,000円です。

2006年度推薦入試



■特技自己推薦

●募集人員 経済10人 経営10人 法10人 人間文化(人間関係5人 メディア文化5人) ●出願資格 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2006年3月卒業見込者。また同等以上の学力があると認められる者。特技ポイント(英語、ワープロ・コンピュータ、漢字、数学、簿記・珠算、課外活動、スポーツ、文化活動、海外留学経験、成績)に当てはまる者(詳細は要項参照)。併願可。

●選抜方法 書類審査、面接 ●日程 出願10/20~10/28 面接日11/6 合格発表11/12

■公募推薦A

●募集人員 経済60人 経営55人 法45人 人間文化(人間関係30人 メディア文化30人) ●出願資格 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2006年3月卒業見込者。また同等以上の学力があると認められる者。併願可。

●選抜方法 書類審査、基礎考査(11/18:英語、国語(現代文のみ)、数学Ⅰ・A、日本史Bまたは世界史Bから

情報入手方法

- ☑ホームページ
<http://www.kyotogakuen.ac.jp/>
- ☑テレフォンサービス
☎0771-24-8686
学園案内、入試日程、入学志願者速報など
- ☑E-mail
nyushi@kyotogakuen.ac.jp

学費・奨学金制度

☑学費(2005年度参考)

経済学部	1,275,500円
経営学部	1,275,500円
法学部	1,278,500円
人間文化学部	1,278,500円

☑入学時奨学金制度

一般入試前期成績優秀者特別奨学金制度
センター試験成績優秀者特別奨学金制度
一般入試前期・センター試験前期=3科目型のみ合格者の中で、成績上位者(約5%)に、4年間授業料(相当額)の半額を奨学金として給付します。

2科目選択。11/19:英語、国語(現代文のみ)、日本史Bまたは世界史Bから2科目選択) ●日程 出願10/27~11/8 試験日11/18・11/19 合格発表11/26

■公募推薦B

●募集人員 経済15人 経営15人 法10人 人間文化(人間関係7人 メディア文化10人) ●出願資格 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2006年3月卒業見込者。また同等以上の学力があると認められる者。併願可。

●選抜方法 書類審査、面接(経営学部女子推薦枠のみ志望理由書、面接) ●日程 出願11/21~12/2 面接日12/11 合格発表12/17

■公募制推薦

●募集学部 バイオ環境学部 ●選抜方法 書類審査、基礎考査(英語、数学Ⅰ・A、物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰから1 高得点の2教科2科目を採択) ●日程 出願12/1~12/9 試験日12/18 合格発表12/24 *募集人員等詳細は募集要項参照して下さい。

2006年度AO入試

●募集人員 経済20人 経営20人 法10人 人間文化(メディア文化)7人(※AO入試では人間関係学科は募集しません) ●出願資格 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2006年3月卒業見込者。また同等以上の学力があると認められる者。専願者。 ●選抜方法 書類審査、エントリーシート、模擬授業、面接 ●日程 一次エントリー7/1~8/31 二次エントリー8/1~9/9 審査日9/18 結果通知9/23 出願9/26~10/3 合格発表10/8

☑一次エントリー7/1~9/25 二次エントリー8/1~9/30 審査日10/8 結果通知10/15 出願10/17~10/24 合格発表10/29

2006年度一般入試科目・日程

区分	学部	募集人員	入試科目 (配点)	出願期間	試験日	合格発表	手続締切
一般・前期	経済	70	英語・国語(現代文のみ)・数学Ⅰ・日本史B・世界史Bから2教科2科目(日本史B・世界史Bの組み合わせ不可)(各100)※1	1/6~1/20 窓1/21・23	1/28・29・30・31※1 (試験日自由選択)	2/7	1次
	経営	60					2/17
	法	50					2次
	人間文化	85					3/3
一般・中期	バイオ環境	※2	英語、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B、物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰから1 *高得点2教科を採択 ※2	1/6~1/19 窓1/20・1/21	1/27	2/3	※2
	バイオ環境	※2	英語、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B、物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰから1、国語(漢文を除く) *高得点3教科を採択 ※2	1/16~1/31 窓2/1・2/2	2/8・2/9・2/10	2/17	※2
一般・後期	経済	10	英語・国語(現代文のみ)・数学Ⅰ・日本史B・世界史Bから2教科2科目(日本史B・世界史Bの組み合わせ不可)(各100)	2/9~2/24 窓2/25・27	3/4	3/11	一次
	経営	10					3/17
	法	10					二次
	人間文化	20					3/24
センター前期 2教科型・3教科型	バイオ環境	※2	英語、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B、物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰから1 *高得点2教科を採択 ※2	2/10~2/24 窓2/25・2/27	3/5	3/11	※2
	経済	25	英語、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B、物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰから1 *高得点2教科を採択 ※2	1/19~2/3 窓2/4・2/6	2/15	2/15	一次
経営	25	2/24					
法	20	二次					
人間文化	26	3/3					
センター後期	経済	10	国語・地歴・公民・数学・理科・外国語から高得点の2教科2科目を採択(各100)(前期3教科型のみ3教科3科目を採択(各100))	2/9~2/28 窓3/1・3/2	3/11	3/11	一次
	経営	10					3/17
	法	10					二次
	人間文化	10					3/24

※1 数学選択は1/28・1/30入試のみ ※2 バイオ環境学部の募集人員・配点・手続締切日等、詳細は募集要項を参照下さい。

2005年度入試結果

区分	学部・学科	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	合格最低点
一般・前	経済	193	188	98	1.9	90
	経営	115	110	64	1.7	94
	法	131	128	64	2.0	95
	人間文化	196	117	42	2.8	106
一般・後	経済	73	66	54	1.2	83
	経営	56	52	49	1.1	69
	法	46	43	11	3.9	113
	人間文化	62	35	16	2.2	111
センター前	経済	125	125	106	1.2	93
	経営	116	116	106	1.1	92
	法	169	168	135	1.2	113
	人間文化	199	94	34	2.8	139
センター後	経済	44	44	40	1.1	104
	経営	20	20	20	1.0	104
	法	18	18	10	1.8	141
	人間文化	40	15	6	2.5	137

バイオ環境学部(2006年4月 設置認可申請中)

環境問題が全世界的な人類の課題となっている今、環境破壊の流れをとめ、環境の再生に早急に取組むことが私たちの課題です。これらの問題を解決する科学のひとつとして注目されているのが、バイオサイエンス、バイオテクノロジーです。

バイオ環境学部では、バイオサイエンス・バイオテクノロジーという先端技術を、環境のために活用し、環境保全と環境再生に役立てるための応用技術の研究・開発に取り組めます。また、そうした技術を実社会で有効に活用できる、広い視野を両立させた人材の育成に取り組めます。

全世界的な潮流として、環境にやさしい経営が求められている企業や、暮らしやすい環境の創造を求められている地域社会にとって、本学部が育成する人材は今、必要不可欠な存在であり、広く企業や行政が求めている

TOPICS

キャリアサポートセンター

京都学園大学では、就職先の傾向として、主に、流通業界・サービス業界、特に、商社やメーカーの卸売業・小売業があげられます。多くの学生が、キャリアサポートセンターを利用して、毎年、上場企業を中心に多数の求人があり、高い就職率となっています。キャリアサポートセンターでは、1回生から就職に向けた指導をスタート。就職に向け、全面的にバックアップ体制を整えています。社会に有益な人材の育成と「なりたい自分」の発見を目指し、入学から卒業までの4年間、有意義に過ごせるよう、4つの充実した

支援体制をとっています。

〔進路支援〕

1回生から、自己発見レポートなどのプログラムで、客観的に自分の能力や、興味を把握し、今後の進路の目標設定に役立ちます。また、学生一人ひとりに対して、進路や目標にあわせた履修ができています。きめ細かく、キャリアアップ指導も行います。

〔キャリア形成支援〕

インターンシップや、仕事研究講座など、就職前に、仕事観や職業観を形成するための支援を行っています。昨年度から、この制度でインターンシップで実習を終えた学生には、「単位

の認定」が行われています。

〔能力開発支援〕

各種資格の取得や、公務員対策など、皆さんのキャリアアップを図るため、数多くの講座を開講しています。開講講座例：公務員対策講座、行政書士講座、社会保険労務士講座、宅建講座、通関士講座、簿記会計講座など。

〔就職支援〕

筆記試験対策から、模擬面接まで就職活動に必要な講座を実施しています。また、個人面談を中心とした就職指導では、経験豊富なスタッフがアドバイスするなど、みなさんの就職活動をきめ細かく、バックアップしています。